

## 浜松市

### 地形概況

天竜川下流部の砂礫質からなる自然堤防帯と旧河道が残る低地、三方原台地と周辺の崖や丘陵地、数列の砂堆と堤間湿地をもつ海岸平野からなる。特に中田島砂丘の規模は大きい。村櫛半島も台地の延長で、湖岸は新川ぞいと並んで埋めたてと改変が進んだ。

### 地質概況

北部には秩父帯の片岩や砂岩が分布し、三方原台地は砂礫層、天竜川沖積地と海岸平野は砂礫層・泥層・砂層からなる。三方原礫層は褐色砂礫層とシルトを主とする東鴨江累層の表面をおおう。沿岸の中田島は規模の大きい砂丘で砂層の分布も広い。

### 気象概況

年平均気温は推定 15.7°C(三組町)と県内でも気温が高く、冬は季節風によって乾燥し晴天日が多いため、日照時間が 2,633 時間と県内で最長である。年平均降水量は 2,153mm(同上)と県平均よりやや少ない。西からの風が多く、年平均風速は 3.3m/秒と強い。

### 災害事例 地震

- 1965 年 4 月 20 日 (昭和 40 年) 静岡付近の地震 M=6.1  
清水平野北部で被害が大きかった。この地震全体で死者 2 人、負傷者 4 人。浜松消防署望楼(鉄筋コンクリート造)のはめころしの窓ガラスが割れた。
- 1944 年 12 月 7 日 (昭和 19 年) 東南海地震 M=7.9  
県中・西部で被害があった。当地でも浜松市中央で全壊 198 戸、半壊 406 戸、曳島地区で半壊 10 戸、白脇地区で全壊 23 戸、半壊 33 戸、富塚地区で全壊 7 戸、半壊 18 戸、都田で半壊 1 戸、小野口で全壊 1 戸、積志で全壊 5 戸、半壊 14 戸、豊西で全壊 1 戸、半壊 1 戸、笠井で全壊 2 戸、長上で全壊 4 戸、半壊 19 戸、中ノ町で全壊 97 戸、半壊 137 戸、和田で全壊 14 戸、半壊 20 戸、飯田で全壊 8 戸、半壊 8 戸、芳川で全壊 67 戸、半壊 57 戸、河輪で全壊 57 戸、半壊 97 戸、五島で全壊 42 戸、半壊 86 戸、吉野で全壊 4 戸、半壊 10 戸、和地で全壊 5 戸、半壊 2 戸、北庄内で半壊 1 戸、南庄内で全壊 2 戸、半壊 12 戸、村櫛で全壊 82 戸、半壊 58 戸、伊佐見で全壊 3 戸、神久呂で全壊 3 戸、半壊 3 戸、入野で全壊 34 戸、半壊 33 戸、新津で全壊 2 戸、篠原で全壊 38 戸、半壊 82 戸の被害が出た。なお蒲地区、三方原では全半壊ともなかった。また中ノ町・豊西など天竜川堤防沿いの水田と高塚の畑には無数の噴砂・噴水・地裂が認められた。村櫛の東部埋立地で赤褐色の泥水を噴出した。南西郊の志都呂・西鴨江・入野・伊場など崖で台地と接する低湿地は、小規模の亀裂・陥没を生じて家屋被害があった。各地の震度は金折町・村櫛が 6~7、松小池町・白鳥町・中里町・中野町・下江町・東町・長田町・吉野・篠原が 6、半田町・薬師町・材木町・新貝町・本郷町・西島町・伊場・伊佐見・庄内・可美村が 5~6、中郡町・豊町・笠井町・恒武町・上石田町・大瀬町・小池町・市野町・天王町・上新屋町・将監町・大浦町・三方原が 5 である。

- 1891年10月28日(明治24年)濃尾地震 M=8.0  
東海道筋見附町より浜松町に到る間諸処に破損有り。遠江で、家屋全壊32、半壊31、道路破損19、橋梁損落1、堤防崩壊24。
- 1854年12月23日(安政元年)安政東海地震 M=8.4  
全県下に被害があったが、当地でも浜松で城の門1つ角矢倉1つが落ちた。寺院や瓦の家は残らず倒れた。入野村で32戸皆潰れ、その他の過半は大破し、死者が1人あった。伊場・西鴨江・志都呂では潰家はなかったが、山崎村では家がつぶれ、下じきになるものがあった。各地の震度は入野で7、篠原で6~7、白羽・中田島・新橋・天神・竜禅寺・下飯田・頭陀寺・馬郡・市野で6、本郷・金折・有玉・浜松で5~6、高塚で5、伊場・西鴨江・志都呂で4である。
- 1707年10月28日(宝永4年)宝永地震 M=8.4  
全県下に被害があったが、当地でも昼8ツ時に大地震があり、浜松で潰家71戸、半潰家29戸、大破損家52戸があった。半田村でも潰家51戸。そのほかの家は大破した。地盤の沈下、地割れがあり、また砂・小石が水とともに噴き出した所もある。震度は6~7であった。
- 1498年9月20日(明応7年)明応地震 M=8.2~8.4  
古い時代で詳細はよくわかっていない。村櫛で震度が5~6になった。

#### 災害事例 津波

- 1854年12月23日(安政元年)安政東海地震津波  
静岡県沿岸全域で大津波。当地では馬郡で3.2m、坪井で3.7m、篠原で3.9m程度の高さの津波が襲った。

#### 災害事例 高潮

- 1935年8月29日(昭和10年)  
浜名湖は高潮により田・畑・養魚池の浸水、道路の欠潰などが起こり、多大の被害を生じた。浜名郡で床上浸水24戸、床下浸水114戸である。
- 1912年9月23日(大正元年)  
浜名湖では23日3時ごろより高潮が起こり、6時には2m以上になった。東岸の和地村・伊佐地村で大きい被害があった。
- 1680年9月28日(延宝8年)  
三河、吉田より駿河、原・吉原まで高潮になった。浜松では本丸・天守・二の丸・三の丸等、櫓塀が破損し、潰家は土屋敷・町屋を含めて358戸あった。在々所々潰家高潮で溺死した人は数え切れないほどであった。

#### 災害事例 台風

- 1974年7月7日(昭和49年)台風8号(七夕豪雨)  
全県下に被害があった。日雨量は浜松で279mmに達し、警察署管内の被害は浜松中央署で死者4人、負傷者2人、全壊2戸、床上浸水147戸、床下浸水1,013戸、

決壊道路 1 箇所、橋梁 1 箇所、山崩 27 箇所、浜松東署で死者 1 人、全壊 4 戸、半壊 20 戸、流失 6 戸、床上浸水 340 戸、床下浸水 2,415 戸、冠水田畑 197ha、橋梁 6 箇所、堤防 11 箇所、山崩 33 箇所などである。

- 1971 年 8 月 30 日（昭和 46 年）台風 23 号  
全県下風水害で、当地の警察署管内の被害は浜松中央署で全壊 1 戸、半壊 2 戸、床上浸水 250 戸、床下浸水 1,311 戸、田畑冠水 1,300ha、道路決壊 6 箇所、橋梁流失 3 箇所、堤防決壊 7 箇所、山崩 1,128 箇所、浜松東署で半壊 2 戸、床上浸水 8 戸、床下浸水 334 戸、田畑冠水 25ha、山崩 2 箇所などである。
- 1966 年 6 月 27 日（昭和 41 年）台風 4 号  
全県下で風水害を受けた。浜松中央署管内で死者 1 人、全壊 1 戸、半壊 1 戸、床上浸水 20 戸、床下浸水 3,408 戸、田畑冠水 712ha、道路損壊 8 箇所、堤防決壊 1 箇所、山崩 9 箇所、浜松東署管内で床上浸水 2 戸、床下浸水 224 戸、田畑冠水 299ha などの被害があった。
- 1965 年 9 月 18 日（昭和 40 年）台風 24 号  
浜松中央署管内の被害は、全壊 1 戸、床上浸水 11 戸、床下浸水 500 戸、田畑冠水 285ha、道路決壊 22 箇所、山崖崩 1 箇所であった。
- 1959 年 9 月 26 日（昭和 34 年）伊勢湾(15号)台風  
県西部で被害があった。浜松の最大瞬間風速は 42.0m/s に達した。全壊 113 戸、半壊 645 戸、床下浸水 54 戸の被害を生じた。
- 1956 年 9 月 27 日（昭和 31 年）  
全県下で風水害あり、当地でも全壊 2 戸、半壊 1 戸、床上浸水 20 戸、床下浸水 1,275 戸に及んだ。
- 1944 年 8 月 7 日（昭和 19 年）  
浜松市で浸水家屋 1,200 戸を生じた。
- 1926 年 9 月 4 日（大正 15 年）  
浜松地方は 4 日朝から暴風雨となり最大風速は 37.0m/s に達した。被害は死者 8 人、負傷者 33 人、全壊 85 戸、半壊 110 戸、床下浸水 52 戸であった。
- 1910 年 8 月 10 日（明治 43 年）  
全県下特に中・西部に被害大きく、当地でも諸河川氾濫、床上浸水 1,339 戸、床下浸水 1,238 戸、冠水田畑約 219ha の被害があった。7 日から 10 日までの雨量は合計 670mm に達した。
- 1850 年 8 月 28 日（嘉永 3 年）  
天竜川増水し、下流域では子安で堤防切れ、諸村は 40 日余水浸しになった家も多かった。
- 1789 年 7 月 10 日（寛政元年）  
中野町村で天竜川堤防が決壊し、人家悉く流された。人畜の溺死するものが多かつ

た。

#### 災害事例 豪雨

- 1994年9月18日（平成6年）  
活発な前線の影響で県西部を中心に大雨となった。浜松では時間雨量86mmを記録している。浜松市内では床上浸水33戸、床下浸水444戸の被害となった。
- 1982年11月30日（昭和57年）  
県西部を中心に集中豪雨となった。浜松では30日6時に測候所開設以来最高の時間雨量87.5mmを記録し、床上浸水130戸、床下浸水4,606戸の被害がでた。
- 1975年10月8日（昭和50年）  
7日午後から8日朝にかけて330mmの雨量に達し、その間の最大時間雨量は81.5mmを記録した。堀留川流域で家屋の浸水や田畑の冠水があった。市内全体で床上浸水987戸、床下浸水5,662戸の被害を生じた。
- 1941年7月12日（昭和16年）  
県下全般に大雨となり、11日～12日の雨量は340mmに達した。床上浸水3,252戸、床下浸水8,978戸の被害が出た。

#### 災害事例 竜巻

- 1971年8月31日（昭和46年）  
3時30分ころ、浜松市高藪から上天神、油一色、新原本村にかけて、民家など約30戸が全半壊した。被害は幅50m、長さ5kmの範囲に及んでいる。
- 1962年8月26日（昭和37）  
26日志摩半島に上陸した台風にともなって各地に竜巻が発生した。浜松市天竜川河口付近で発生したものは北西に進み浜名郡湖東町伊佐地付近に至り、浜名郡篠原村坪井で発生したものは北西に進んで浜名湖上で消滅した。負傷者18人、全壊27戸、半壊108戸の被害があった。
- 1787年10月9日（天明7年）  
杉田玄白の後見草に、“浜松の宿竜の天昇なしける由にて数多の人家の破れし由”とあり、竜巻のことと思われる。

#### 災害事例 冷害

- 1836（天保7年）  
この年はことのほか冷く、3月ごろから雨天がつづいた。